



## 病院の概要

- 医師数（研修医を除く）65名（うち指導医数 23名）
- 研修医数 1年目 4名 2年目 3名
- 研修医の主な出身大学 群馬大学・帝京大学・日本大学・島根大学
- 診療科 内科 循環器内科 消化器内科 呼吸器内科  
糖尿病・内分泌内科 血液内科 腎臓内科 脳神経内科  
外科 消化器外科 乳腺・内分泌外科 脳神経外科  
整形外科 小児科 皮膚科 泌尿器科 耳鼻咽喉科  
放射線科 病理診断科 リハビリテーション科 アレルギー科  
内科（化学療法） 外科（化学療法） 麻酔科 救急科
- 1日平均外来患者数 353名 ● 1日平均入院患者数 259.1名
- 主な認定施設 地域医療支援病院、日本内科学会認定制度教育関連病院、がん診療指定病院、外科医専門医制度修練施設、災害拠点病院、日本脳卒中学会研修教育病院



## 研修プログラムの特色

深い人間性に基づく、かつ優れたプライマリ・ケア能力を修得した医師養成を目指しています。年間入院患者数6,000人以上、2次救急外来患者数は約5,000人と幅広い豊富な患者数に支えられ多様な疾患の経験ができます。さらに総合的な視野を有する各専門領域のサブスペシャリティの指導医を備えていることも当院の特徴です。特に当院では大学病院では経験できない、都会型の地域医療に密着した内科、外科、小児科、整形外科、脳外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科疾患を経験できます。放射線科、病理診断科における診断学研修レベルは高度で、これらの特色をもとに、将来あらゆる領域のキャリア形成にも対応可能な多能性医師養成プログラムを提供します。内科系のみならず外科系領域においても総合医マインドを備えた臨床研修（内科系、外科系ジェネラリスト）プログラムでプロフェッショナル医師を養成します。

### プログラム 例 **さいたま市民医療センター初期臨床研修プログラム（募集定員6名）**

	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1年目▶	オリエン	救急		内科				外科					
2年目▶	小児科		産婦人科	精神科	地域医療	選択必修			選択科目				

内科 24 週、救急 12 週、外科 12 週、小児科 12 週、産婦人科 4 週、精神科 4 週、地域医療 4 週を研修し、選択科目については 4 週を 1 クールとするローテーション方式とする。一般外来研修に関しては内科・外科・小児科研修中に総合診療外来を週 1 回 1 日で並行研修(4 週以上)を行う。地域医療については原則として 2 年次に研修を行う。



## 研修医の処遇

- 給 与 ▶ 1年次：40.7万円/月（当直手当含）賞与76万円/年（実績）、  
2年次：46.3万円/月（当直手当含）賞与152万円/年（実績）
- 諸 手 当 ▶ 宿日直手当、時間外手当
- 保 険 ▶ 埼玉県医師会健康保険組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険あり、  
医師賠償責任保険（病院において加入）
- 勤務時間 ▶ 8時30分～17時30分
- 当 直 ▶ あり（4回/月）
- 休 暇 ▶ 日曜・祝日・有給休暇・夏季・年末年始休暇
- 宿 舎 ▶ あり

## 主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・自治医科大学附属さいたま医療センター
- ・埼玉精神神経センター
- ・さいたま市立病院
- ・南魚沼市民病院
- ・さいたま北部医療センター



## 当院の魅力

### 専門診療と総合診療が融合した指導体制で“軸”になれる医師を育成します

当院は医療需要が増加している「さいたま医療圏」の地域医療支援病院であり、地域医療の司令塔としての役割を担っています。年間5,000台の救急搬送、かかりつけ医からの紹介、そして大学病院との連携で超急性期から回復期までを担当し、患者さんを住み慣れた自宅や施設などに復帰させています。それを実現するために、我々は専門診療を縦糸、総合診療を横糸に見立て、縦糸と横糸で織りなす布が患者を包み込むようなイメージを描き診療しています。具体的には内科系診療科を細分せず、救急総合診療科が内科の主軸となり臓器別専門科がそれをサポートする体制で運営しています。毎朝、全医師が集結し新入院患者の治療方針を議論し各患者に適した主治医団を結成しています。複雑かつ複数の疾患を抱えた高齢者には理想的な臨床決定プロセスであり、毎日欠かさず行っていることが我々の誇りです。朝カンファレンスでは各臓器別専門医からupdateされた情報を毎日得ることができます。臨床医として地域医療に貢献していきたい医師にとっては理想的な教育環境といえます。

#### 研修責任者から



プログラム責任者  
坪井 謙

当院は地域に密着した医療をモットーに診療を行っている地域医療支援病院です。今までも自治医科大学附属さいたま医療センターと連携し、ホスピタリスト育成プログラムで研修医の育成を行っていましたが、2017年より独自にジェネラリスト養成を目的とした研修医育成を始めました。初年度は定員2名から開始しましたが、2019年には4名、2021年には今までの実績から6名に増やすことができました。「病気」、「こども」、「けが」に対して、まず「診る」ことができる医師を育てる研修を提供しており、また新専門医制度でどのプログラムに行っても通用する多能性医師を養成できるプログラムを組んでいます。また、豊富な臨床経験を持つ指導医に加え、各科の垣根も低いため、病院内のどこでも気軽に相談できる環境となっています。こんな病院で一緒に働いてみませんか？

#### 先輩研修医から



研修医2年目  
浅見 文邦

当院の内科ローテーションの特徴は、当直を含め週に3回救急外来の初療が出来ること、救急外来で診た患者さんをそのまま入院後も継続診療できること、毎朝内科カンファレンスがあることです。また、外科では、糸結びや縫合から始まり、3か月目には、虫垂炎などの執刀をやらせて貰えます。CVや胸腔・腹腔穿刺、ルンパールなど一通りの手技もできます。地域に密着した幅広いコモンな疾患を診ることができ、将来どの科に行くにせよ、医者土台を学ぶに良い病院だと思います。

「熱い指導医のもと、幅広い視野が身につきます」救急総合診療科が中心となって総合的な視野に立った診療を行なっている点、小児科はさいたま市の小児救急輪番制を担っており、3ヶ月間の研修が必修で小児科を専攻する予定がなくても、3ヶ月間しっかりと小児科研修を行えることは大変意味のある事だと実感しました。地域の患者さんを地域との関わりの中で診るという視点を養う事ができ、今後の医師人生の基礎を形成する時期に当センターを選択して良かったと感じています。



研修医2年目  
増田 司



### 女性医師支援コーナー

- ・ 短時間勤務制度
- ・ 院内保育の設置
- ・ 当直免除

女性特有の事情に合わせた勤務体系を構築することによりライフステージに合わせた働き方を選択できるようにしています。

#### 連絡先 社会医療法人 さいたま市民医療センター

総務課 佐藤・長谷川

〒331-0054 さいたま市西区島根299-1

TEL	048-626-0011(代表)	FAX	048-799-5146
E-mail	soumu@scmc.or.jp		
URL	http://www.scmcor.jp		
アクセス	大宮駅西口よりバス約20分		

#### i 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

※病院見学希望随時受付しております。  
遠方の方はWEBでの面談も受け付けていますので、総務課 採用担当までメールにてご連絡ください。